

金メダル

今年(ことし)はオリンピック・パラリンピック開催(かいさい)の年(とし)です。そこで今回は、身近(みぢか)な人(ひと)の中(なか)で何か(なに)を頑張(がんば)っている、金メダル(きんめだる)を贈(たま)りたい(たが)いと思う(おもう)人(ひと)について書(か)いてもら(もら)いました。なお、掲載(きやう)がでなかつた記者(きしや)の記事(きじ)は、市ホームページ(しホームページ)に掲載(きやう)してあります。

全校(ぜんこう)に響(ひび)く勝田台小学校(かつただいしょうがっこう)の応援(おうえん)



勝田台小 浦 美織

私の金メダルを贈りたい人は運動会で共に戦った青組の仲間たちです。そう思う理由は、小学校生活最後の運動会をかけたがない大切な思い出に変えてくれたからです。運動が苦手な私に「協力して勝つととても楽しい!」ということを気付かせてくれました。また、応援団には特別な金メダルを贈りたいです。昼休みや業間休みまで練習をして、競技中に思いきり大きな声でのどをからして応援してくれたからです。全校で全力を出し切ることができました。

先生のおかげで、できました



西高津小 阿部 隼亮

「これはこうで、〇〇だから〇〇になるんだよ」とわかりやすく教えてくれた5年生の時の担任の先生に金メダルをあげたいです。なぜなら、優しくも厳しくも、僕が出会った中で一番良かったと思えたからです。先生のおかげで直せたこと、勇気をもらったこと、元気をくれたことなど、たくさんありますが、中でも良かったと思うことは、とことん相談に乗ってくれ、僕のために涙を流してくれたことです。だから先生に「ありがとうございます」と一言と金メダルをあげたいです。

クラス全員金メダル!



勝田台南小 金子 美秋

私が金メダルを贈りたいと思う人は、私のクラス全員です。私のクラスは男女関係なく仲が良く、とても明るく、歌もうまいので、私はとても居心地が良いです。みんな個性豊かで、それぞれに良いところがあります。いつもみんなをまとめてくれる子、いっぱい提案してくれる子、やさしくて努力家な子、いつも明るく話しやすい担任の先生。一人にしばれと言われたら迷いますが、私のクラス

全体を見るとすごいと思う人がたくさんいます。だから、私は自分のクラス全員に金メダルをあげたいと思います。

お母さんに感謝の金メダル



南高津小 富吉 ゆずは

私のお母さんは、おばあちゃんの面倒を見ながら、私をあわせて5人の兄弟を育てています。お母さんは、おじいちゃんの畑も手伝っていて、いつも大変そうなので私やお姉ちゃんがよくお風呂掃除や皿洗い、食事を作ったりなどの手伝いをしています。私たちのために頑張ってくれているお母さんに、感謝の気持ちを込めて、金メダルを贈りたいです。

目標に向かって



大和田西小 志村 美風

私の周りの金メダルを贈りたい人は、私と同じダンススタジオで習い事をしている、同じクラスの友達です。そんな友達「凄い!」と思ったことは、自分で決めた目標をきちんと達成している事です。特に友達はダンスの練習と勉強の両立が上手で、「毎日1時間ずつする」と決めたら、毎日欠かさずしていました。それを見て私はいつも「流石だなあ」と思っています。私は努力するのが苦手で、日記を書こうとすると三日坊主で終わってしまいます。これからは自分で決めた目標の一つでも達成できるよう、コツコツと努力をしていこうと思います。

世界一の両親



村上北小 小川 巧人

私が金メダルをあげたい人は、両親です。理由は二つあります。一つ目は、いつも優しく時に厳しく、一番近くで温かく見守ってくれているからです。しかも仕事、家事、習い事の送迎や応援、全部やってもらっているからです。日頃の感謝を忘れないよ

うにこれからも生活していきたいです。二つ目は、世界に一人しかいないからです。そんな恵まれている環境や家族に生まれてくれた僕は世界一幸せです。

スクールガードのみなさん「ありがとう」



八千代台東小 櫻井 康晴

私が金メダルを贈りたい人は、スクールガードのみなさんです。スクールガードのみなさんは、雨の日でも、風の強い日でも、いつも僕たちの安全を見守ってくれています。事故にあわないように見守るだけでなく「おかえり」など、笑顔であいさつしてくれます。僕は6年生なので、6年間ずっと見守ってもらっていたのだと思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。卒業までの残りの日々、感謝の気持ちを伝えるために、スクールガードのみなさんに会ったときは、元気にあいさつをしたいと思います。「いつも見守ってくれてありがとう!」



私の大好きな祖父へ渡したいもの



高津中 今井 哉斗

今、私の祖父は病気で闘っています。祖父は77歳ですが見た目が若く、体力もありとてもパワフルな人です。帰省をした時には動物園や温泉、私の好物であるお寿司が美味しい店にも連れて行ってくれます。そんな祖父が先日、新型コロナウイルスによる肺炎で入院しました。病気知らずの祖父の入院に驚愕し、心配の気持ちでいっぱいです。1日でも早く回復するように毎日心から願っています。無事、祖父が回復したら「おつかれさま」と伝え、この記事を読んでもらいたいです。

記者の目

まだまだ足りない復興支援



八千代台西小 自黒 友絆

能登半島地震が起きてから5か月経ってもがれきの撤去など復興支援が足りていないことを知りました。地元の人の要望をよく聞き取り、今よりも早く復興が進むことを願います。

ミツバチありがとう



みどりが丘小 田畠 怜奈

私は、ミツバチが減少しているというニュースを見ました。ミツバチが減少してしまうと、はちみつがとれなくなるだけでなく、リンゴやトマト、玉ねぎなどの農作物がとれなくなり、食料危機につながるそうです。主な原因は地球温暖化と言われています。このニュースからミツバチがいなくなると、普段食べている野菜や果物が食べられなくなるというので驚きました。これからミツバチが過ごしやすいように花を植えたり、自然を大切にしていきたいです。

インターネットとの付き合い方



大和田中 飯田 有咲

学校の授業や買い物など、さまざまな場面でインターネットが使われています。そんな中、よく耳にするのが「スマホ依存症」という言葉です。便利な機能が多いので、つい熱中してしまい、スマホを使って気付けば1時間が経っていたなんてことが多くあります。自分で時間をマネジメントしながら、より良いインターネットとの付き合い方を考えていきたいです。